

ブリキットシステム壁強度テストのご報告

この度、当社のレンガ外壁「ブリキットシステム」の面内せん断テストを行いましたのでテスト内容と結果をご報告させていただきます。

面内せん断試験とは壁倍率を算出する試験の事を指します。壁倍率とは耐力壁の強さを数値化したものであり、耐力壁と言うのは建物が地震や風等の水平力に耐えるために用いられる壁です。壁倍率は1～5の数値で表され壁倍率が高い程風圧や地震への抵抗力があります。最大値が5なので、**試験数値が5を超えても壁倍率5.0**となります。

テストの目的:本来壁倍率は構造体に求められる数値であり、外壁には求められません。しかし当社では地震に強い外壁「ブリキットシステム」の強度を可視化する為に面内せん断テストを行いました。

※今回のテストは国・行政の定める壁倍率を計る為の試験ではありません。

テスト方法:試験体上部・下部共に固定します。上部を横方向に繰り返しスライドさせ、水平荷重をかけ壁倍率を算出しました。試験体は下記の2種類を使用しました。

試験体①:木造枠組み工法
面材:構造用合板 9mm
面材寸法:W=910mm H=2,374mm
通気胴縁:スギ 18mm
外装材:ブリキットシステム(目地あり)

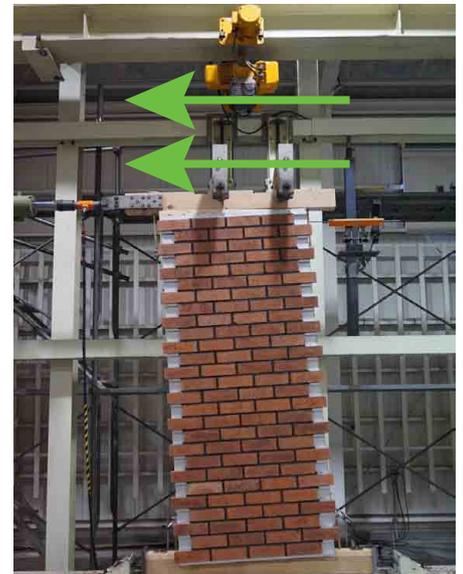
試験体②:木造軸組み工法
面材:構造用合板 9mm
面材寸法:W=910mm H=3022.5mm
通気胴縁:スギ 18mm
外装材:ブリキットシステム(目地あり)



①開始前:この状態でスタート



②序盤:上部を左にスライド
少し左に傾いている



終盤:一番荷重をかけた状態
壁全体が左下に大きく傾く

テスト結果:試験体①=**5.35**
試験体②=**5.67**

どちらの試験体も壁倍率の**最大値5.0を超える**結果となりました。またレンガ外壁にも破損は認められずブリキットシステムの強度を確認できました。